

令和3年度 マリア学院高槻マリアインマクラダ幼稚園 自己評価

1.本園の教育目標

- ・神様とまわりの人たちが愛されていることに気付く。(宗教教育)
- ・幼稚園生活での体験を通して、自分らしく生きる力を養い、自分自身を好きになる。(モンテッソーリ教育)
- ・神様とまわりの人たちが愛する子どもになっていく。(平和教育)

2.本年度年間目標

- ・神様と人を愛し、神様から愛されている体験を通して、互いに認め合い、祈り合いながら過ごす。
- ・活動の中でよく考え、意識しながら体と心を使うと共に、様々な事象に興味・探求心を持つ。
- ・友だちとのつながりの中で、共に協力しながら、豊かにのびのびと育ち合う。

3.本年度重点的に取り組む目標や計画

- ・教師は援助の仕方を見出し、一人一人の子どもの成長を見守る。
- ・互いに祈り合い、生きていく喜びに導く。
- ・モンテッソーリ教育への学びを深め、自身を整えながら子どもたちの同伴者として援助する。
- ・防災、防犯対策へ再なる意識の向上に努める。
- ・感染症対策を徹底して行ない、安心して過ごせる環境を整えながら、対策への意識を高めていく。

4.評価項目の達成および取り組み状況

教育目標	<ul style="list-style-type: none">・愛されている喜びを感じ、自分自身や他者を大切にすることで、平和の心が育つよう、祈りながら過ごした。・モンテッソーリ教育を通し、一人一人の力が発揮できるよう、観察環境の整備に努め、自立への援助に心を尽くした。
指導の重点	<ul style="list-style-type: none">・子ども一人一人の成長を職員全体で見守り、学期ごとに分かち合いをし共通理解を深め、必要な援助が的確にできるように努めた。・一人一人の活動に尊敬を持って関わり、自ら成長する子どもの歩みに同伴できるよう、教師自身が日々心を整える努力をしてきた。
特別支援教育	<ul style="list-style-type: none">・特別支援が必要な子どもの状態を把握し、スクールカウンセラー、又、関係機関との連携をとりながら指導にあたった。
教育環境整備	<ul style="list-style-type: none">・子どもの自立を援助し、一人一人の子どもたちの育ちに沿った環境となるよう、常に見直しをしていた。・教師は感謝と喜びを持って保育し、子どもたちの一番の良い環境となれるように心を整える努力をした。
保健管理	<ul style="list-style-type: none">・子どもの健康状態を職員間で共通に把握できるよう、健康状態の記録や、保健対応記録などを活用し、連絡、報告、経過打診を密に行い、適切に対応してきた。・園医の指示をおおぎながら、子どもたちの状態にあった対応や情報を提案し、家庭と連絡を密にした。

安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・施設設備の点検を定期的に行っている。また、改善点や計画についてよく検討し、より安全な施設設備を目指す。 ・防災、防犯について、一人一人が意識を持って行動することの大切さを伝達し、防災訓練を定期的を実施した。 ・感染症対策を徹底して行ない、変化する日常生活に対応していけるよう、環境の整備に努める。
経営組織	<ul style="list-style-type: none"> ・財務面においては堅実な運営方法を取り、組織性において、教職員の個性を尊重しつつ、互いの成長を目指している。
研究研修	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に研修会に参加し、研修の報告をもとに分かち合い、それぞれの課題を意識して、保育に活かせるように共に学び合っている。 ・職員間のかち合いを通し、子どもたち一人一人、そして職員自身も神様から愛されていることを感じ、共に学び、歩める喜びを分かち合っている。
学校間交流	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校への接続が円滑に行われるよう、就学相談を希望する保護者と小学校との間に立ち、スムーズに引き継ぎができるよう、一人一人の成長の様子を適確に伝達する。 ・小学校との連携を図るため、小学生の集いを通して卒園後の子どもの様子を見る機会を持つ。
家庭地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ・園に関わる地域の方々働きを知り、子どもたちが感謝を持ってすごせるよう分かち合っている。
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・未就園児クラス(こどもの家、トゥインクルスター)、おやこ集いの広場(puka puka mama等)の充実をはかり、子育ての相談や情報の共有など、保護者間の交流の場作りを力を入れている。 ・預かり保育を通して、保護者の就労、又、育児の手助けにより、親子ともに安心した生活が送れるよう協力を努める。 ・臨床心理士による子育ての相談の場を設け、育児への提案、提言、必要な援助を行っている。

5. 今後取り組むべき課題

教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもをよく観察し、家庭の繋がりや成長の歩みを客観的・総合的に見守る。 ・子どもの援助の仕方に共通の理解・意識を深めていく。 ・互いに向上し合えるよう、園内研修、分かち合いへの取り組みを大切にする。
子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインの集いなどを通して、保護者同士が子育ての悩みを相談し、分かち合える場を提供していく。 ・臨床心理士による、子育て相談やカウンセリングの場の充実を図る。
安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・事故防止のため、施設設備の更なる見直し、点検をする。 ・子どもが自然災害などに対する正しい知識を持ち、災害時の行動の仕方がわかるよう教師が意識して伝えていく。 ・感染症に対する更なる対策を講じ、普段の生活の中での習慣づけを徹底していく。

6. 学校関係者の評価

保育内容評価について学校関係者評価委員 8名の意見を集約

- ・教育理念(基本理念、教育基準、教育共同体)を礎えとし、子ども一人一人の自立に向けて、育ちに添った丁寧な関わりが実施されている。
- ・3～6歳の縦割り保育の中で、モンテッソーリ教育が浸透し、子どもが自ら考え、行動し、子どもたち同士で育ち合う環境が整えられている。
- ・コロナ禍で行動が制限される中ではあるが、常に子どもたちの安心・安全に配慮しながら、心身共に成長する過程を顧み、様々な方法で行事を実施してきたことへの評価を得た。
- ・オンラインでの親睦会や、講演会を通して、子育てに悩みを抱えている保護者への提案・提言により、子育て支援での一定の評価を得た。
- ・保育情報発信について、努力はしているが、保護者の方々にとってより詳細な状況把握を望まれていると感じた。

7. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。